



1. 津波被害の実態を知る

道の駅「高田松原」で「東日本大震災津波伝承館」と「高田松原津波復興祈念公園（奇跡の一本松などの震災遺構多数）」を見学することで、津波の実態を体感できます。また当時の街並みや津波発生時の避難状況などを知ることができます。またパークガイドを活用することで、震災の発生から今日に至るまでの復興の歩みについて、地元の体験者からお話を聴くことで、より深い震災学習に繋がります。

2. 命を守る行動について考える

岩手県立野外活動センターにて「避難所運営 (HUG)」を実践します。「もし自分が被災した時にどう行動するか」を疑似体験をすることで、さらに一步踏み込んだ震災学習に繋がります。ゲーム形式の体験を通じて、自分とは異なる価値観に気づくだけでなく、震災発生直後に降りかかる問題を体験することで、防災時の備えの大切さも知ることができます。
※事前に自分の学校や避難所の平面図 (A1~A2サイズ) をご用意頂くとよりリアルな疑似体験に繋がります。

3. 持続可能な環境について体験する

陸前高田ワタミオーガニックランドにて、昼食をとりながら環境に配慮した農業を体験できます。SDGs・持続可能な農業の取り組みとして、「すべての命が幸せになる仕組み」がどのようにして行われているのかを体験し、農業・土・エネルギー・食糧・命などの幅広いテーマで学習することができます。雨風をしのげる巨大なビニールハウスで、120名様程度が同時に利用できます。

学習のねらい：被災地を体験して津波の実態を知る

旅マエ

1. つかむ(課題設定)

地震と津波について基礎的な知識を得る
自分の地域で地震が起きたときに何ができるか考える。

2. さぐる(課題追及・事前情報収集)

地震と津波の“災害事例”について調べる
東日本大震災について調べる
地震によってどんな被害が想定されるか
津波によってどんな被害が想定されるか
→実際に陸前高田ではどんな被害が発生したのか「映像資料」を視聴して、自分事として考えてみる

旅ナカ

3. 深める(東北での修学旅行)

実際の被災地をリアルで“見る”
→「東日本大震災津波伝承館」や震災遺構等
人数：1~2クラス 料金：無料 期間：年中
実際に起こった被災地のことを“見て”・“聞く”
→「復興祈念公園（奇跡の一本松など）」及びパークガイドの利用
人数：20名様～
料金：825円~1,100円(人数に応じて) 期間：年中
被災直後の課題を“体験する”
→「避難所運営 (HUG)」
人数：1~2クラス 料金：無料 期間：年中
※別途、講師料・サポート料などが発生する場合があります。



旅アト

4. 広げる(修学旅行からの振り返り)

東北で経験したことを「自分」「家族」「地域等」に置き換え実際にシミュレーションをし、「行動」や「発信」を行う。
自分の地域で地震が起きた場合、どんなことが想定されるかを考え、そこで何が出るか、どんな備えができるかをまとめて共有する。
◆課題整理、まとめ、検証

学びのゴール

「間接体験」や「直接体験」を通じて得られた情報をもとに、情報を再構成しながら自分の考えをもち、「発信」や「行動動機」ができるようになる。

陸前高田市の修学旅行プログラム

地震による“津波被害”について「陸前高田」にて自分事として防災を学ぶ

目的

学びの過程

学びの場

学習内容

マイタイムラインを参考にしよう

課題訴求

課題の深掘り

学校

陸前高田市

学校

「ツール」「映像」を活用

東日本大震災津波伝承館の見学

雨天可

■ワークシートを使って旅の中での学習を通じて、自分の地域に戻った際に、災害が起きたら「何ができるのか」「どんな問題が発生するか」などを考えて、「自らで考えて行動し、発信する」ことができるようになる

■事前学習として

- 地震と津波について基礎的な知識を得る

“津波”という自然災害について、歴史・事実・教訓・復興の4つの観点から学ぶことができます。東日本大震災のみならず、日本全域における地震の歴史を知ることができます。被災した橋の一部や消防車なども展示されており、津波の威力の大きさを実感することができます。震災発生時から避難後の記録を、写真やイラストで分かりやすく展示しており、命を守るための教訓を知ることができます。

・被災時の避難所の役割について学ぶ

高田松原津波復興祈念公園・震災遺構の見学

雨天可

■地震や津波だけではなく、様々な自然災害による被災が考えられるので、それぞれ自分の地域に合わせて考えるてみる。

・自分の地域で災害が起きたときに何ができるか考える。

高田松原津波復興祈念公園は、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂、震災の教訓とそこからの復興の姿を高田松原の再生と重ね合わせて未来に伝えていくための公園です。祈念公園内には5つの震災遺構が残されており、7万本の松林の中で唯一残った“奇跡の一本松”、かつては宿泊施設だった“陸前高田ユースホテル”、旧道の駅“タピック45”、4階まで津波に飲み込まれた“下宿定住促進住宅”、奇跡的にも全員が避難して助かった“気仙中学校”、これらの震災遺構を中心にパークガイドでは“震災・復興・これから”を、それぞれの経験を交えながらご案内させていただきます。

■ワークシートを使って

- 地震と津波の“災害事例”について調べる

避難所運営（HUG）の体験

雨天可

・東日本大震災について調べる

- 地震によってどんな被害が想定されるか

岩手県立野外活動センターにて「避難所運営（HUG）」を実践します。「もし自分が被災した時にどう行動するか」を疑似体験をすることで、さらに一步踏み込んだ震災学習に繋がります。ゲームを通じて、自分とは異なる価値観に気づくだけでなく、震災発生直後に降りかかる問題を体験することで、防災時の備えの大切さも知ることができます。

・津波によってどんな被害が想定されるか

■映像資料を使って

陸前高田ワタミオーガニックランドでの昼食と環境学習

雨天可

実際に陸前高田ではどんな被害が発生したのかを視聴して、より自分事として考えてみる。

ワタミオーガニックランドにて、昼食をとりながら環境に配慮した農業を体験できます。持続可能な農業の取り組みとして、「すべての命が幸せになる仕組み」がどのようにして行われているのかを体験し、農業・土・エネルギー・食糧・命などの幅広いテーマで学習することができます。雨風をしのげる巨大なビニールハウスで、120名程度が同時に利用できます。

補足資料

震災学習

【大人数の団体様向け】5クラス ローテーション例

野外活動センター + 【震災学習】高田松原津波復興祈念公園パークガイド

利用箇所 岩手県立野外活動センター、高田松原津波復興祈念公園、東日本大震災津波伝承館

内容 避難所運営ゲーム(HUG)、パークガイド(震災ガイド)、東日本大震災津波伝承館(自由見学)

学習効果 パークガイド・東日本大震災津波伝承館で陸前高田市を襲った震災のこと・復興の今を知り、自身が災害あった場合どう行動するか考えるきっかけに。

1 組	2 組	3 組	4 組	5 組
岩手県立野外活動センター		高田松原津波復興祈念公園	高田松原津波復興祈念公園	
90分 避難所運営 (HUG)		50分 パークガイド 復興祈念公園内 防潮堤・奇跡の一本松など 震災遺構の見学	50分 パークガイド 復興祈念公園内 防潮堤・奇跡の一本松など 震災遺構の見学	50分 東日本大震災 津波伝承館
40分 昼食		バス移動	40分 昼食	
バス移動		岩手県立野外活動センター	高田松原津波復興祈念公園	
高田松原津波復興祈念公園		90分 避難所運営 (HUG)	50分 東日本大震災 津波伝承館	50分 パークガイド 復興祈念公園内 防潮堤・奇跡の一本松など 震災遺構の見学
50分 パークガイド 復興祈念公園内 防潮堤・奇跡の一本松など 震災遺構の見学	50分 東日本大震災 津波伝承館	バス移動	バス移動	
50分 東日本大震災 津波伝承館	50分 パークガイド 復興祈念公園内 防潮堤・奇跡の一本松など 震災遺構の見学	高田松原津波復興祈念公園	岩手県立野外活動センター	
終了		50分 東日本大震災 津波伝承館	90分 避難所運営 (HUG)	
		終了	終了	



避難所運営ゲームの様子



昼食の様子(お弁当)



高田松原津波復興祈念公園

【震災ガイド】 高田松原津波復興祈念公園パークガイド

高田松原津波復興祈念公園パークガイドは、東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるために2021年6月より新しく始まった高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。

人数	最大 260 名まで対応可能
所要時間	約 40 分～120分
100名様以上で複数箇所をご見学の場合は120分お時間が必要です。	

高田松原津波復興祈念公園

この場所は、東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂、震災の教訓とそこからの復興の姿を高田松原の再生と重ね合わせて、未来に伝えていくための公園です。

復興祈念公園には5つの“震災遺構”が残されており、震災・復興の記憶を感じることができます。



パークガイド

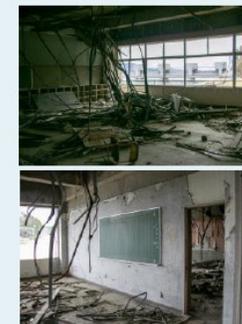
パークガイドでは公園内を、陸前高田市観光物産協会から認定を受けた“個性豊かな”地元住民がガイドのご案内いたします。震災遺構である『奇跡の一本松』をはじめ、パークガイドの同伴を条件として内部の見学が許可されている『気仙中学校』や、『旧道の駅タピック45』といった公園内の震災遺構を中心に“震災・復興・これから”を、それぞれの経験を交えながらご案内させていただきます。



Point

震災遺構 **気仙中学校**
2021年より校舎の3階まで、ガイド同伴のもと見学が可能になりました。

気仙町にあった中学校。場所は気仙川の河口付近にあったため、津波が堤防を越えてからわずか数分で校舎屋上近くまで津波が達しました。しかし、生徒たちは先生の指示のもと、津波が到達する前に高台へ避難していたため、全員無事でした。
震災遺構として残された旧気仙中学校は、日頃の学習と訓練の結果、犠牲となった方が一人もいなかったとして**防災教育の重要性を伝える遺構**として位置づけられました。高田松原津波復興祈念公園パークガイドの同伴を条件として、震災当時のまま残されている旧気仙中学校の内部を見学することができます。



復興祈念公園内に残されている震災遺構

奇跡の一本松

～復興への希望の象徴の遺構～

陸前高田ユースホステル

～復興への希望の象徴の遺構～

旧道の駅タピック45

内部の見学が可能になりました

～津波の威力を伝える遺構～

下宿定住促進住宅

～津波の高さを伝える遺構～

気仙中学校

内部の見学が可能になりました

～防災教育の重要性を伝える遺構～

プログラムのお問い合わせは

一般社団法人マルゴト陸前高田

〒029-2205

岩手県陸前高田市高田町字鳴石50番地10

電話:0192-22-7410 MAIL:info@mrgt.or.jp

～東北まなび旅を見たとお伝えいただくとスムーズです～